

マタイ 9

愚か者とは 私のこと

マタイ福音書5章21～26節

山上の説教② 怒りの代償

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 怒りの代償 21～26節

II. ゲヘナとは？

III. まとめと適用

唯一、怒る権威をお持ちの方に



0. イントロダクション

ガリラヤ湖

メシアの誕生が明らかにしたこと マタイ1~2章

- ① イエスが、メシアである
- ② **メシアは、真のイスラエル**である
- ③ 真のイスラエルであるメシアは、すべての異邦人のメシアである

イスラエルの歩みの到着点が、メシア

メシアの招きと応答

- イスラエルのメシアは、誕生された
- メシアを信じ、従いなさい
- ガリラヤの漁師たちが最初の弟子に!!

メシアによる宣教が本格的に開始!!

メシアによる宣教の開始

■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

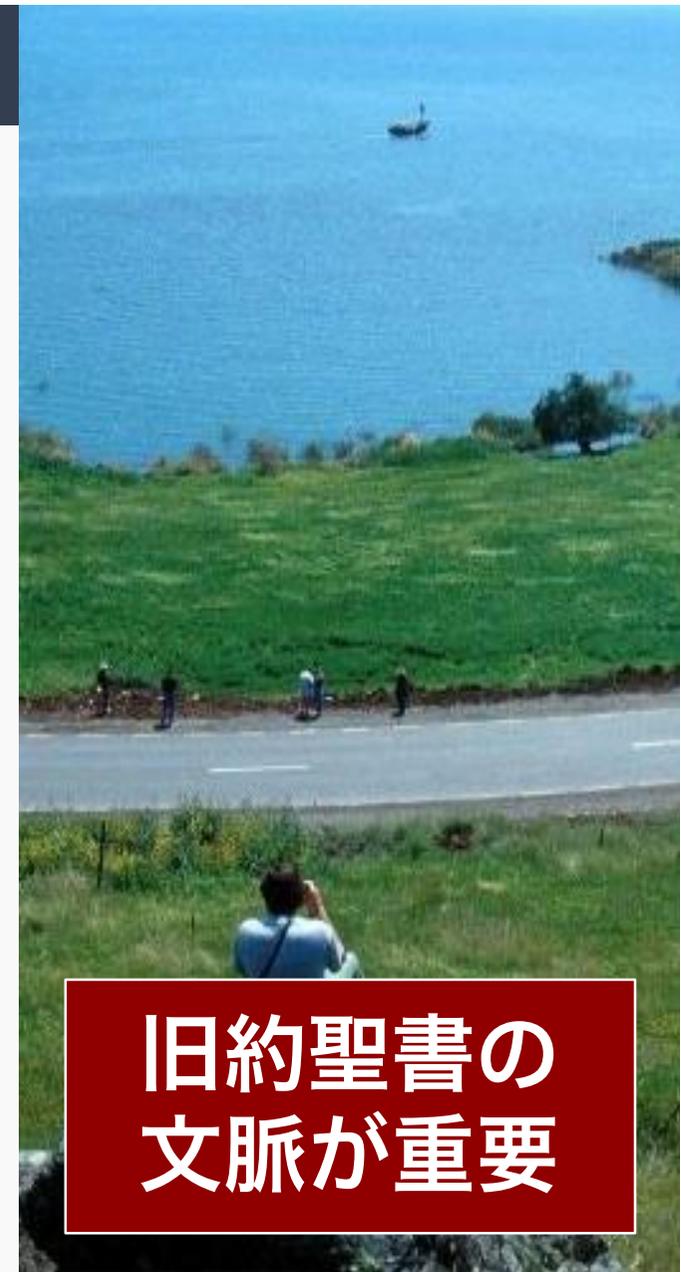
「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」

と言われた。

**イスラエルがメシアを受け入れれば
神の王国が実現する!!**

山上の説教とは？ マタイ5～7章

- ガリラヤ湖畔で語られた、イエスの**説教集**。
→ 丘の上、もしくは湖面(ルカ6章)から
- パリサイ派の「**口伝律法**」の間違いを指摘。
神の「**律法**」の真の意味と適用を教えられた。
→ 十字架以前のこの時点は、**律法の時代**
- 「山上の説教(垂訓)」とは、
→ メシアによる直々の**律法解釈!!**
→ **イスラエル**に向けて語られた



旧約聖書の
文脈が重要

律法の成就のためにメシアは来られた

■ マタイ5:17~18

わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、と思っ
てはなりません。廃棄するためではなく
成就するために来たのです。

まことに、あなたがたに言います。
天地が消え去るまで、律法の一点一画も決して
消え去ることはありません。すべてが実現します。

メシアが、律法を成就、神の計画を完遂

マタイ福音書5章21～26節

■マタイ5:21～22

昔の人々に対して、『殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。『愚か者』と言う者は火の燃えるゲヘナに投げ込まれます。

マタイ福音書5章21～26節

■マタイ5:23～24

ですから、祭壇の上にささげ物を献げようとしているときに、兄弟が自分を恨んでいることを思い出したなら、ささげ物はそこに、祭壇の前に置き、行って、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。それから戻って、そのささげ物を献げなさい。

マタイ福音書5章21～26節

■マタイ5:25～26

あなたを訴える人とは、一緒に行く途中で早く和解しなさい。そうでないと、訴える人はあなたを裁判官に引き渡し、裁判官は下役に引き渡し、あなたは牢に投げ込まれることになります。

まことに、あなたに言います。最後の一コドラントを支払うまで、そこから決して出ることはできません。



I. 怒りの代償

マタイ5章21～26節

ガリラヤ湖畔

訓戒 律法・十戒 マタイ5:21

昔の人々に対して、『殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない*』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

*「殺してはならない。出20:1」…十戒の第6戒
「あなたの神、【主】があなたに与えようとしておられる、あなたのすべての町囲みの中に、あなたの部族ごとに、さばき人たちと、つかさたちを任命しなければならない。彼らは公正に民をさばかなければならない。申命記16:18」



シナイ山

訓戒 下される裁き マタイ5:22前半

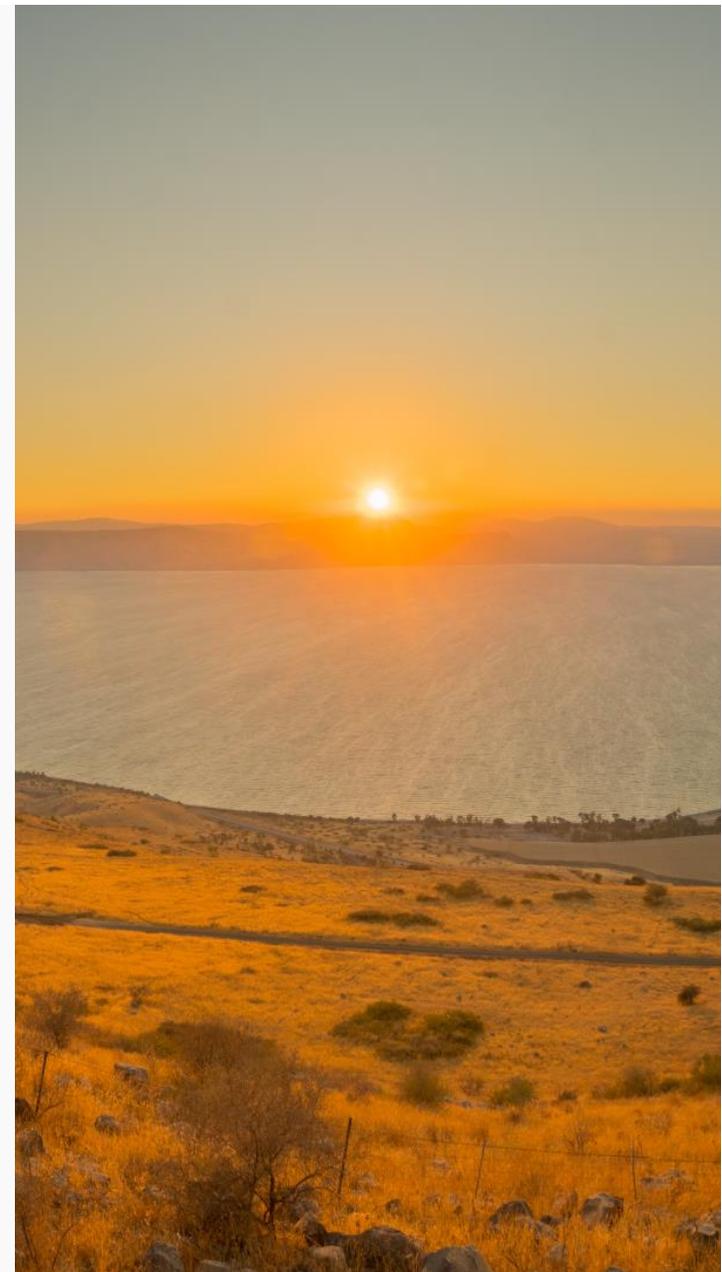
しかし、わたしはあなたがたに言います*。兄弟*に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。

*メシアによる真の律法解釈が語られる

*第一義的には、神の民イスラエル。

あるいは、残れる真の信仰者。

➡教会時代には、福音を信じた信仰者。



訓戒 怒りの代償 マタイ5:22後半

兄弟に『ばか者*』と言う者は**最高法院***でさばかれます。『愚か者』と言う者は**火の燃えるゲヘナ***に投げ込まれます。

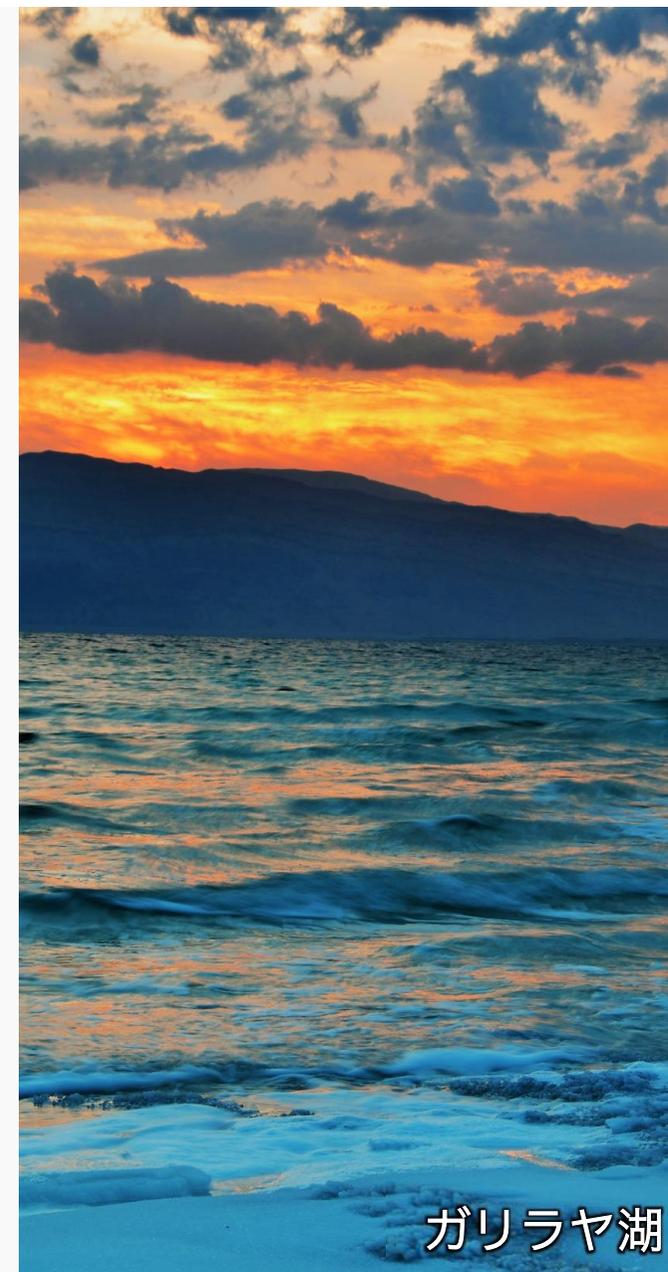
*ラカ …能なし(三版)、愚か者(口語)
一回だけ。

*ユダヤ最高議会、この時点では死刑執行権も

*モーロス …ばか者(三版)

6/12回は、イエスが使用

*メシアによる最後の裁きの後の、永遠の滅び



訓戒 礼拝の前に マタイ5:23～24

ですから、祭壇の上にささげ物を献げよう
としているときに*、兄弟が自分を恨んでい
ることを思い出したなら、

ささげ物はそこに、祭壇の前に置き、行っ
て、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。
それから戻って、そのささげ物を献げなさい。

*十字架以前のこの時点は、まだ律法の時代



訓戒 あなたも訴えられている マタイ5:25

あなたを訴える人*とは、一緒に行く途中で早く和解しなさい。そうでないと、訴える人はあなたを裁判官に引き渡し、裁判官は下役に引き渡し、あなたは牢に投げ込まれることになります。

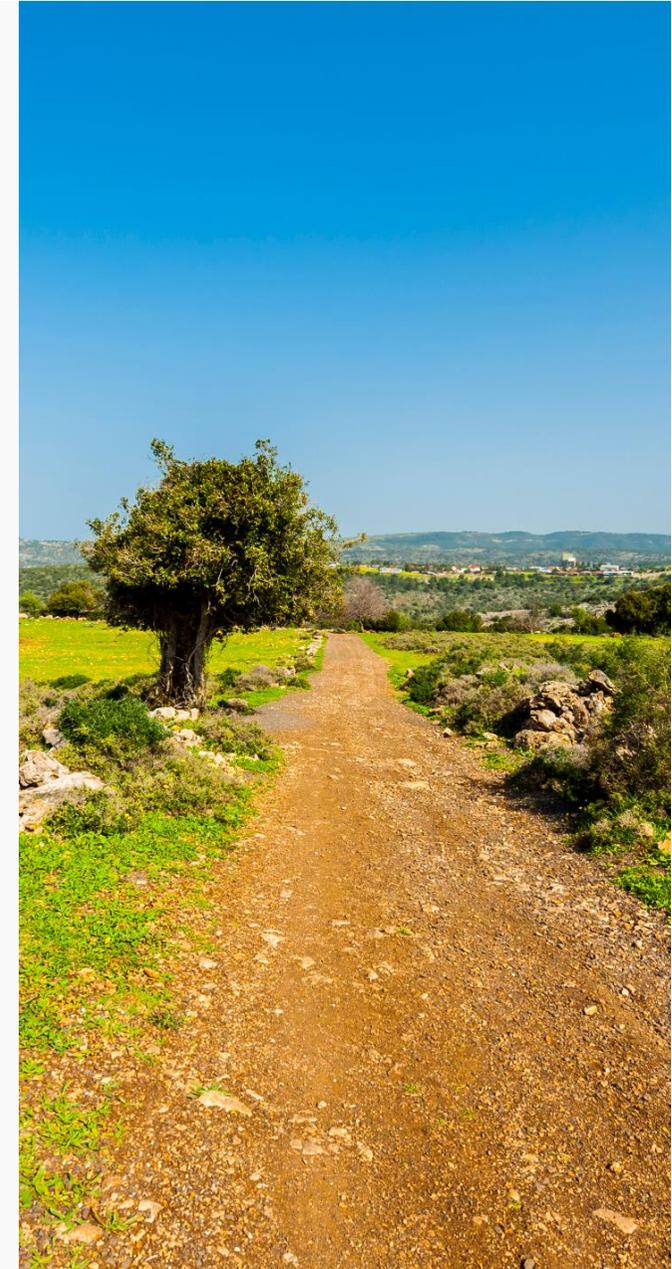
*賠償金を伴う何らかの訴え

■ここでイエスは、民事裁判をたとえに話す。

➡すべての人は、訴えられている罪人。

➡地上の裁判ですら、逃れられない。

ましてや、神の裁きに逃げ場は皆無。



訓戒 裁きの厳格さ マタイ5:26

まことに、あなたに言います。最後の $\frac{1}{4}$ ドラント*を支払うまで、そこから決して出ることはできません。

* $\frac{1}{4}$ デナリ …1デナリ = 労働者の日給

■ 地上の賠償金であっても、完済するまで、牢を出られないほどに厳密。

ましてや、返済不可能な神への負債・罪は、永遠の滅び・ゲヘナに陥るのみ。





II. ゲヘナとは？

ガリラヤ湖畔

ゲヘナとは？

- “ベン・ヒノムの谷”が、語源。
ゴミ捨て場。南北時代の偶像崇拜の場。

【ヨシヤ王が破壊したマナセ時代の偶像】

Ⅱ列王23:10 彼はベン・ヒノムの谷にあるトフェトを汚し、だれも、自分の息子や娘に火の中を通らせてモレクに献げることのないようにした。

- 11/12回は、イエスが使用。
7回は、マタイ。3回は、山上の説教。
(※唯一の例外…ヤコブ3:6「舌は火」)

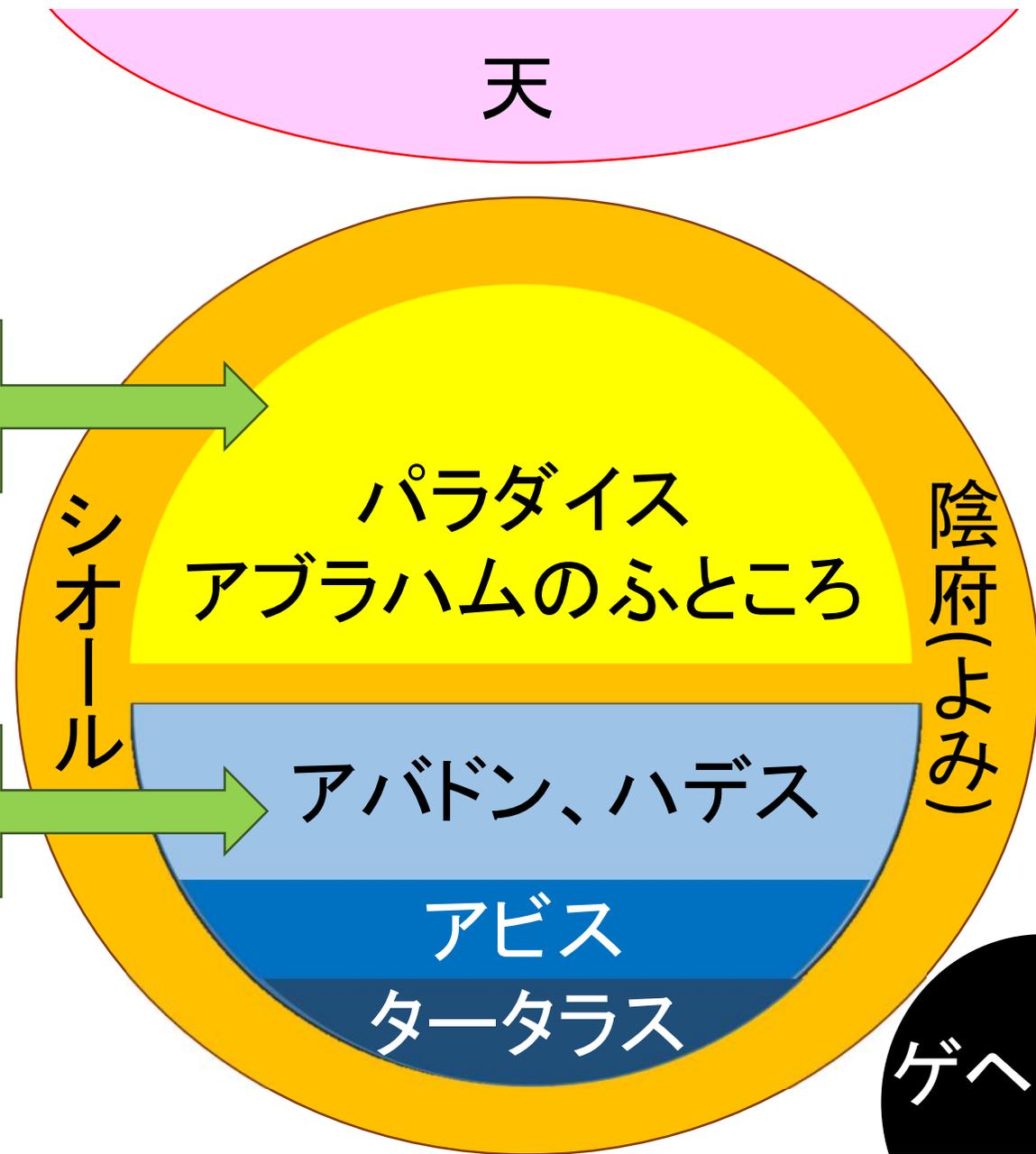


死後の世界

イエスの復活前

主を信じた人

主を信じなかった人



死後の世界

イエスの復活後

主を信じた人

パラダイス
アブラハムのふところ

天

主を信じなかった人

シオール、陰府(よみ)

アバドン、ハデス

アビス

タータラス

ゲヘナ

死後の世界

白い御座の裁きの後

主を信じた人

新天新地
天のエルサレム

主を信じなかった人

ゲヘナ
火の池

地上のエルサレムは影

地上の
エルサレム
神殿
神の栄光

新天新地
天のエルサレム
イエスが神殿
神の栄光

ヒノムの谷
けがれ 偶像礼拝

ゲヘナ
永遠の火の池
(地獄)

主イエスが告げた、ゲヘナに墜ちる行為

- ①兄弟への怒り** …「兄弟に『ばか者』…『愚か者』という者は火の燃えるゲヘナに投げ込まれます。マタイ5:22」
- ②姦淫** …「からだの一部を失っても、全身がゲヘナに落ちないほうがよいのです。マタイ5:30」
- ③偽善・偽りの教え** …「わざわざ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは一人の改宗者を得るのに海と陸を巡り歩く。そして改宗者ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするのだ。マタイ23:15」
- ④神を恐れない** …「たましいもからだもゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。マタイ10:28」

メシアとゲヘナ

■ ゲヘナに落とされる罪

- ① 兄弟への怒り
- ② 姦淫(欲望)
- ③ 偽善・偽りの教え
- ④ 神への恐れがないこと

■ ゲヘナをもたらされる方 ➡ イエス・キリスト

■ ゲヘナに投げ込む権威を持つ方 ➡ イエス・キリスト



Ⅲ. まとめと適用

唯一、怒る権威をお持ちの方に

ガリラヤ湖畔

滅びを招く人の怒り

- 「ばか者、愚か者」 …半数以上は、イエスが使用
 - ➔ 兄弟に怒る者は、永遠の滅びに至る愚か者(マタイ5:22)

「人の愚かさは自らの道を滅ぼす。その心は【主】に向かって激しく怒る。箴言19:3」

「舌は火です。不義の世界です。舌は私たちの諸器官の中にあってからだ全体を汚し、人生の車輪を燃やして、ゲヘナの火によって焼かれます。ヤコブ3:6」

- 怒りは、人にはコントロール不能。人を待つのは、滅びだけ。

人の怒りの根っこにある罪

- 神への怒りを抱いているのが、罪人。
最初に怒りを抱いたのは、弟を殺めたカイン。

「【主】はカインに言われた。「なぜ、あなたは怒っているのか。なぜ顔を伏せているのか。もしあなたが良いことをしているのなら、受け入れられる。しかし、もし良いことをしていないのであれば、戸口で罪が待ち伏せている。罪はあなたを恋い慕うが、あなたはそれを治めなければならない。創4:6~7」

➡カインの子孫は神の命令に反して定住し、罪を極めた。

人は、怒りの末に滅びにいたる

■ カインは、神の命令に反して定住、子孫は都を築き、罪を極め、ついには大洪水の滅びを招いた。

■ 怒りに満ちた、カインの子孫、レメクの言葉。

「私は一人の男を、私が受ける傷のために殺す。

一人の子どもを、私が受ける打ち傷のために。

カインに七倍の復讐があるなら、レメクには七十七倍。

創世記4:23～24」

主イエスが、滅びに至る私の罪を贖われた

■ イザヤ書53:5~9

53:5 しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

53:7 彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

53:8 虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。

53:9 彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

主イエスが、愚かな私を招かれた

■ 1コリント1:26~29

兄弟たち、自分たちの召しのことを考えてみなさい。人間的に見れば知者は多くはなく、力ある者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。

しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、**この世の愚かな者**を選び、強い者を恥じ入らせるために、**この世の弱い者**を選ばれました。

有るものを無いものとするために、**この世の取るに足りない者や見下されている者**、すなわち**無に等しい者**を神は選ばれたのです。

肉なる者がだれも神の御前で誇ることはないようにするためです。

人の怒りは罪でしかない

- 私たち人間の怒りの根は、罪。神への怒りを抱くのが、罪人。
 - ➔ 人の怒りは罪。罪のない者はない。純粹な義憤などない。
- 主イエス・キリストが、神に怒る愚かな私を一方向的に贖われた。
 - ➔ 十字架と復活の福音をただ信じて、神の怒りから救われた。
- 主が人の怒りをゆるされないのは、それが本質的な罪だから。
 - ➔ 私の内にうずく怒りは、どうあっても罪だと知ろう。

預言者ヨナが思い知らされたこと

■ヨナ書4:9～11

すると神はヨナに言われた。「この唐胡麻のために、あなたは当然であるかのように怒るのか。」ヨナは言った。「私が死ぬほど怒るのは当然のことです。」

【主】は言われた。「あなたは、自分で労さず、育てもせず、一夜で生えて一夜で滅びたこの唐胡麻を惜しんでいる。

ましてわたしは、この大きな都ニネベを惜しまないでいられるだろうか。そこには、右も左も分からない十二万人以上の人間と、数多くの家畜がいるではないか。」

怒りの取り扱い

- 罪人に、怒りのコントロールは不可能と知ろう
例) アンガーマネジメントの限界。とある首長。
- 理不尽な経験をした時、理があると感じる時こそ、要注意
→ 容易に怒りを正当化して、爆発させかねない
他の感情も乗せかねない。地雷を誰もが抱えている。
- 私たちの怒りの根には、間違いなく罪がある。
私は、理由なく主に招かれた、ただの愚か者だと思い知ろう。

唯一、怒る権威をお持ちの方に

■ 御怒りの日に裁きをもたらすメシアの預言 詩編110:4~6

「【主】は誓われた。思い直されることはない。

『**あなた***はメルキゼデクの例に倣いとこしえに祭司である。』

あなた*の右におられる**主**は御怒りの日に王たちを打ち砕かれる。
国々をさばき屍で満たし広い地を治める首領を打ち砕かれる。」

*メシアを預言を告げられたダビデのこと

*ダビデの主であるメシア、栄光のイエス・キリスト

■ 怒りは、主のもの。罪の贖いを成し遂げられた主イエスだけが、裁き主として、正当な怒りを下される権威をもっておられる。

燃える怒りを持って再び来られる 裁き主イエス

■黙示録19:12～15

その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

その方は血に染まった衣をまとい、その名は「神のことば」と呼ばれていた。天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。

この方の口からは、諸国の民を打つために鋭い剣が出ていた。鉄の杖で彼らを牧するのは、この方である。また、全能者なる神の激しい憤りのぶどうの踏み場を踏まれるのは、この方である。

★ 聖霊に助けを請い、怒りを主に委ねよう ★

- 信仰者が味わわされる理不尽は、主による試練、訓練だ。求められるのは、正当な裁き主イエスに怒りを委ねること。
- 罪にまみれた愚か者に過ぎなかった私を主が招かれた。こんなにも心貧しい者が、主に用いられる幸いを味わい知ろう。
- 私の内に湧き上がり、身を焦がす怒りは、すべて私の罪。ただ福音を信じたゆえに内住される、御霊に助けを求めよう。救いの証印が身に押された私は、永遠に主のものだ。

罪の怒りに代え、救いの喜びで砕かれた身を満たされよう

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、神のみ^{かみ}子^こイエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を^{じゅうじか}贖^しう^しのために十字架で死に、

②^{はか}墓^{ほうむ}に^{はか}葬^{ほうむ}られ、

③^{みっかめ}三日^{ふっかつ}目に^{しん}復活^{しん}した^{しん}こと、を^{しん}信^{しん}じます。

わたし ^{うち} うち ^{いか} いか ^わ わ ^あ あ ^み み ^こ こ ^{とき} とき
私の内に怒りが湧き上がり、身を焦がす時にはどうか、

わたし ^{おろか} おろか ^{おも} おも ^し し
私の愚かさを思い知らせてください。

あなたのおわれみより、^{えいえん} 永遠^{しゅ}に^{しゅ} 主^みのもの^みとされたこの身です。

^{めぐ} 恵^{あじ}みをこそ^{よろこ} 味^{よろこ}わ^{よろこ}わせて^{よろこ} ください。^{つか} 喜^{つか}び^{つか}も^{つか}って^{つか} 遣^{つか}わ^{つか}して^{つか} ください。

^{しゅ} 主^{しゅ}イエス・キリストのみ^な名^なによって^{いの} 祈^{いの}ります。 アーメン」